

第 11 回 由良川水系・二級水系河川整備計画検討委員会

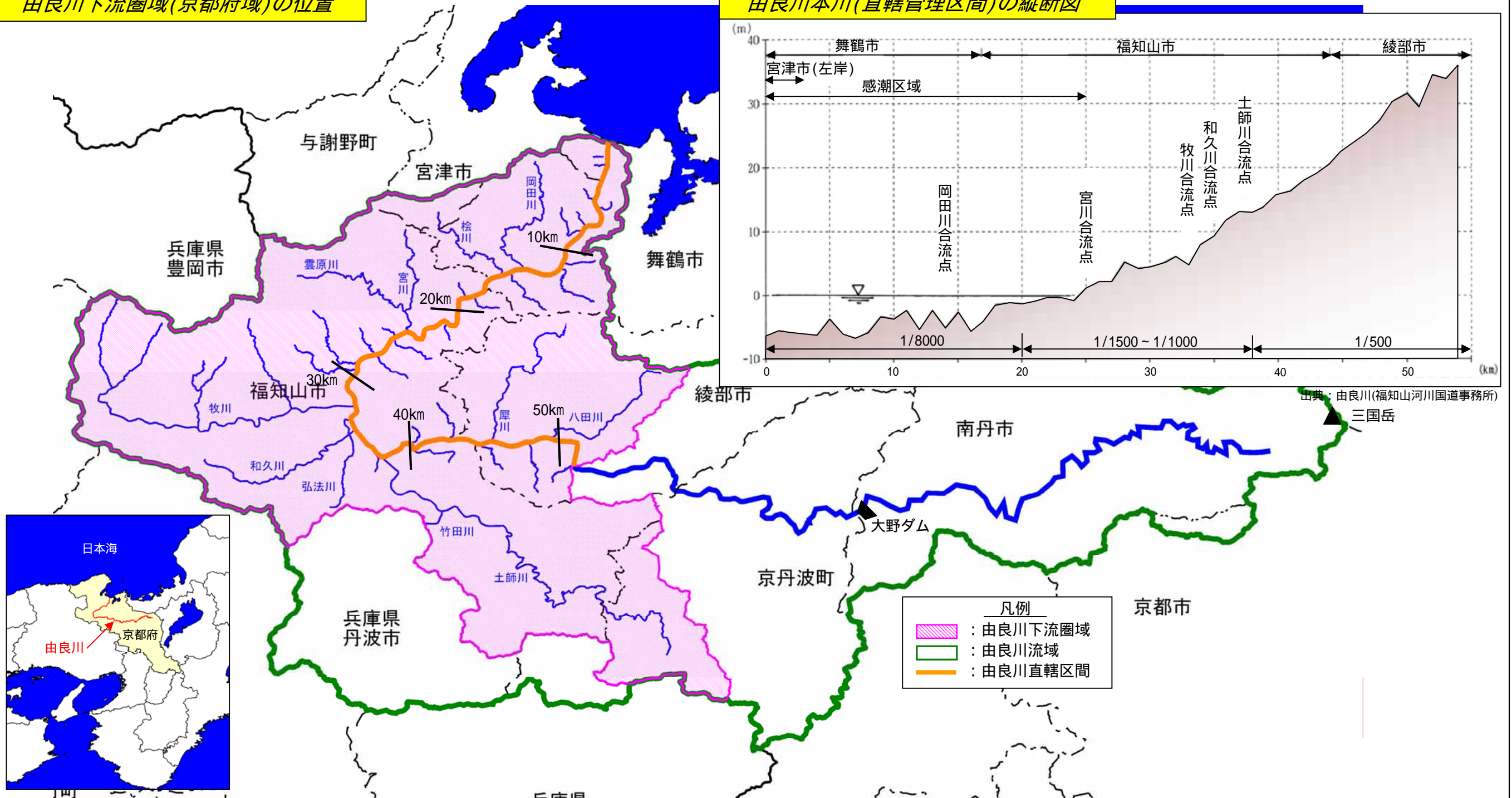
【由良川下流圏域の概要】

平成 22 年 3 月 14 日（日）

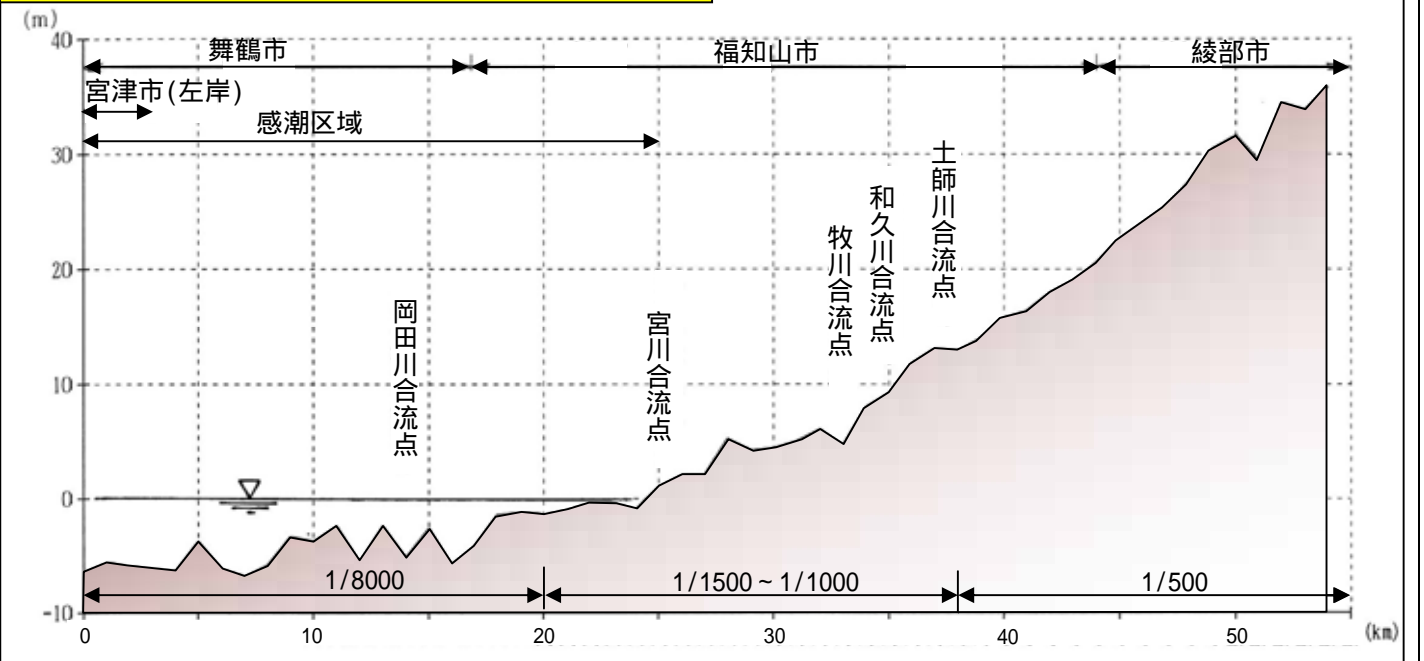
京 都 府

由良川下流圏域の概要（その1）

由良川下流圏域(京都府域)の位置



由良川本川(直轄管理区間)の縦断面図



- ・由良川は、その源を京都・滋賀・福井の府県境の三国岳(標高 959m)に発し、南丹市、京丹波町、綾部市を流れ、福知山市内に出て土師川と合流した後、流れを大きく変えて北流し、舞鶴市及び宮津市の市境において日本海に注ぐ幹川流路延長 146km、流域面積 1,880km²の一級河川です。
- ・その中で、由良川下流圏域(京都府域)内の由良川本川の流路延長は 54km、流域面積は 897km²であり、流域全体の約 5 割弱を占めています。
- ・由良川の河床勾配は、土師川合流点より上流では約 1/500 と急勾配ですが、土師川合流点から 20km 付近までは 1/1,000 ~ 1/1,500 と緩くなり、それより下流では約 1/8,000 という緩勾配で、感潮区域は宮川合流点付近まで及びます。
- ・由良川下流部は狭長な谷底平野となっている上に、勾配が極端に緩くなることから、洪水時には水害が発生しやすいという特徴があります。

由良川下流圏域の概要（その2）

由良川下流圏域の河川

河川 No.	支川			流域面積 (km ²)	流路延長 (m)
	一次支川	二次支川	三次支川		
1	大迫川			2.6	687
2	馳出川			0.5	700
3	和江谷川			2.5	1,123
4	土佐川			2.4	1,373
5	丸田川			1.5	1,365
6	八戸地川			6.1	3,687
7	真壁川			2.3	1,942
8	久田美川			12.7	4,798
9		池田川		5.0	2,485
10	岡田川			29.1	12,944
11		富室川		3.7	2,883
12		平川		5.5	3,255
13		下見谷川		4.8	3,198
14		長谷川		1.8	2,045
15	宇谷川			5.8	4,213
16	桧川			15.6	9,185
17		滝川		25.5	4,508
18	田中川			3.8	2,245
19	三河川			3.3	1,243
20	枯木川			2.3	1,371
21	宮川			66.7	9,395
22		雲原川		32.2	11,998
23		玉川		1.7	383
24		北原川		7.1	2,523
25	薬原川			3.2	1,285
26	尾藤川			8.6	3,440
27	谷河川			2.7	2,335
28	在田川			6.1	2,849
29	花倉川			12.2	7,240
30	大呂川			13.0	6,340
31	牧川			156.9	29,060
32		佐々木川		24.3	8,693
33		宮垣川		3.4	1,738
34		千原川		10.5	4,437
35			深山川	2.5	1,095
36		畑川		24.8	6,435
37			小畑川	4.6	3,338
38		額田川		3.9	1,388
39		末川		5.3	2,118
40		東川		4.7	2,034
41		大柚子川		3.3	1,853
42		直見川		17.0	6,348
43	和久川			58.7	11,698
44		鶴谷川		1.9	3,095
45		加津良川		3.0	1,657
46		檀原川		10.2	4,535
47		堺川		3.2	2,225
48	弘法川			11.1	6,227
49		弘法川放水路			424
50	法川			3.3	1,500
51	土師川			198.9	40,627
52		竹田川		12.5	2,000
53			大内川	7.2	3,027
54			田野川	4.2	3,065
55			平石川	4.7	2,483
56			寺尾川	8.5	4,690
57			川合川	34.1	10,068
58			台頭川	4.1	2,073
59			細見川	16.4	5,688
60			西松川	4.7	2,920
61			評ヶ鼻川	2.6	2,905
62			友淵川	8.0	4,899
63			猪鼻川	9.8	3,409
64			加用川	1.8	1,315
65			奥山川	2.0	745
66			井尻川	14.9	7,356
67			東又川	4.0	2,556
68	大砂利川			1.8	1,906
69	大谷川			10.8	3,590
70	相長川			9.9	4,793
71	荒倉川			5.6	2,928
72	犀川			59.1	13,774
73		伊路屋川		7.4	3,360
74		西坂川		5.4	4,318
75		天野川		2.2	1,279
76		白道路川		2.1	2,333
77		向田川		8.3	4,567
78		西方川		6.1	4,203
79	安場川			7.2	4,503
80	八田川			42.0	11,403
81		小呂川		6.7	2,204
82		上八田川		11.1	2,921
83			大谷川	3.8	2,388
84	田野川			4.5	2,375
残流域				124.7	
京都府内の流域				896.8	
兵庫県内の流域				184.2	
下流圏域の合計				1,081	226,343



大雲橋付近



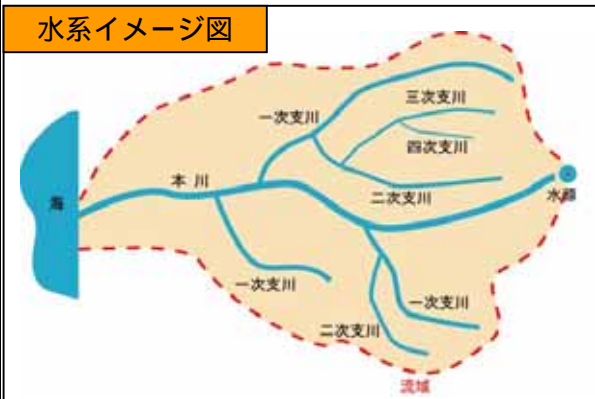
由良川河口部付近



舞鶴市大川・上東・三日市

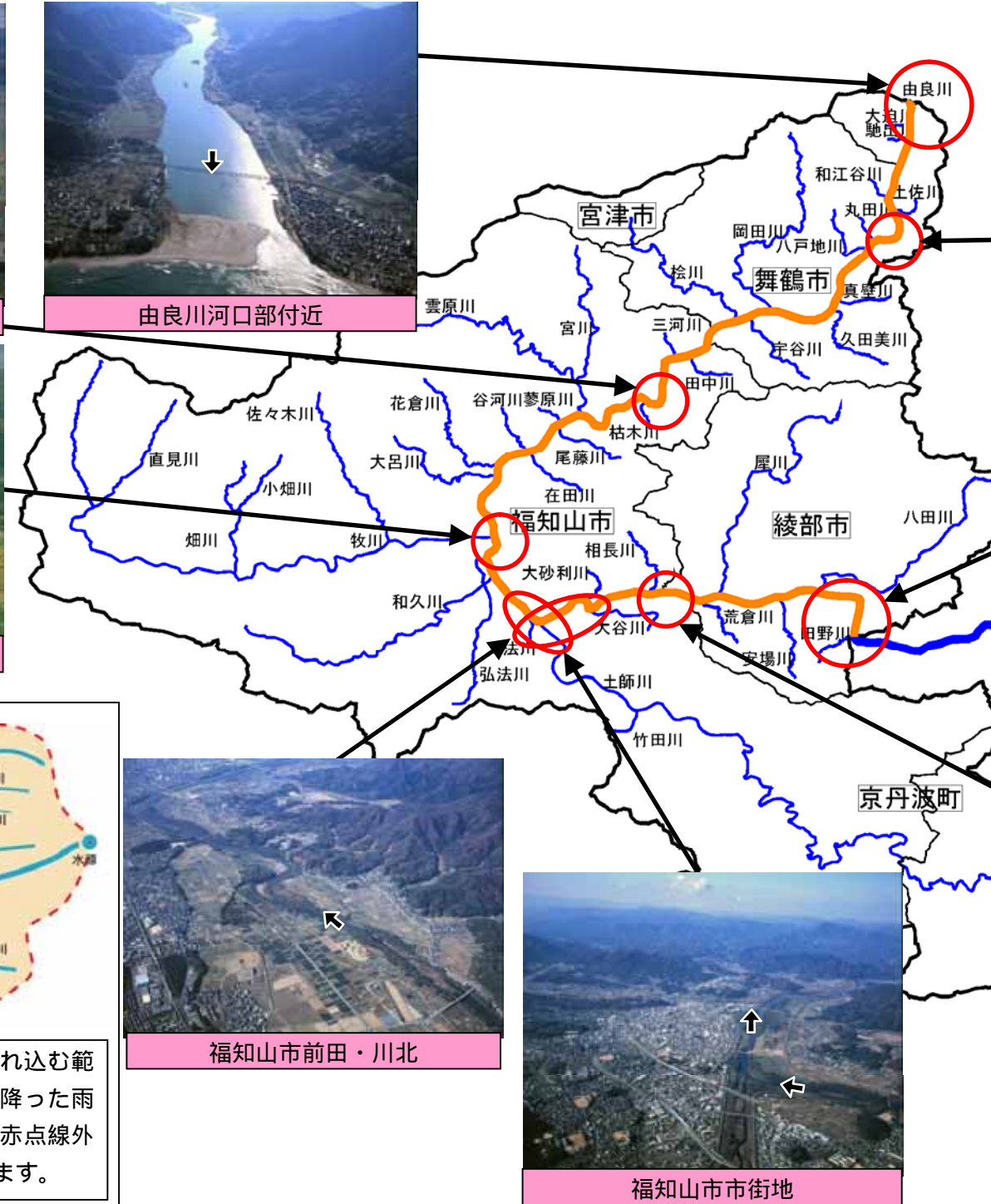


牧川合流点付近



水系イメージ図

流域面積：雨が降ってその川に流れ込む範囲の面積。上図では、赤点線内に降った雨が本川又は支川に流れ込みます。赤点線外に降った雨は、別水系に流れ込みます。



福知山市前田・川北



福知山市市街地



綾部市川糸・並松・寺町・味方



福知山市観音寺・私市

写真出典：「由良川」 国土交通省近畿地方整備局

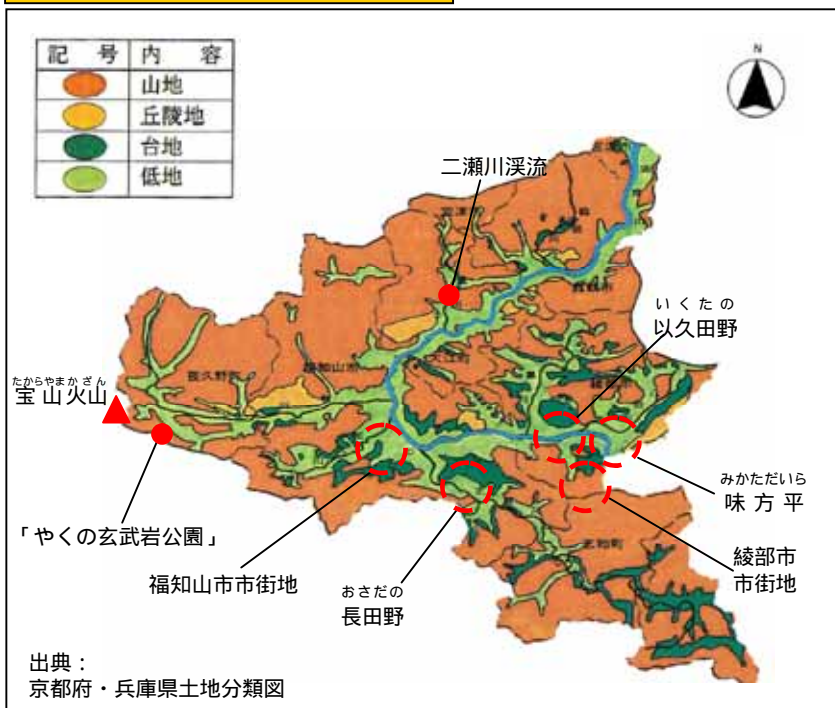
- ・由良川下流圏域(京都府域)は、由良川(大臣管理区間)に流れ込む宮川、牧川、土師川、犀川などの一級河川 84 河川を対象としています。
- ・そのうち一次支川は 34 河川あります。中でも流域面積最大の一次支川は土師川であり、次いで牧川となっています。河川延長では土師川が 40.6km、次いで牧川が 29.1km あります。
- ・由良川下流圏域は、中流部の福知山盆地は標高が低く広い平地が見られ、市街地が形成されていますが、そこから河口までは幅 200 ~ 300m の狭長な谷底平野となっており、自然河岸が形成されています。

注) 支川を持つ河川の流域面積には、支川の流域面積も含まれています。

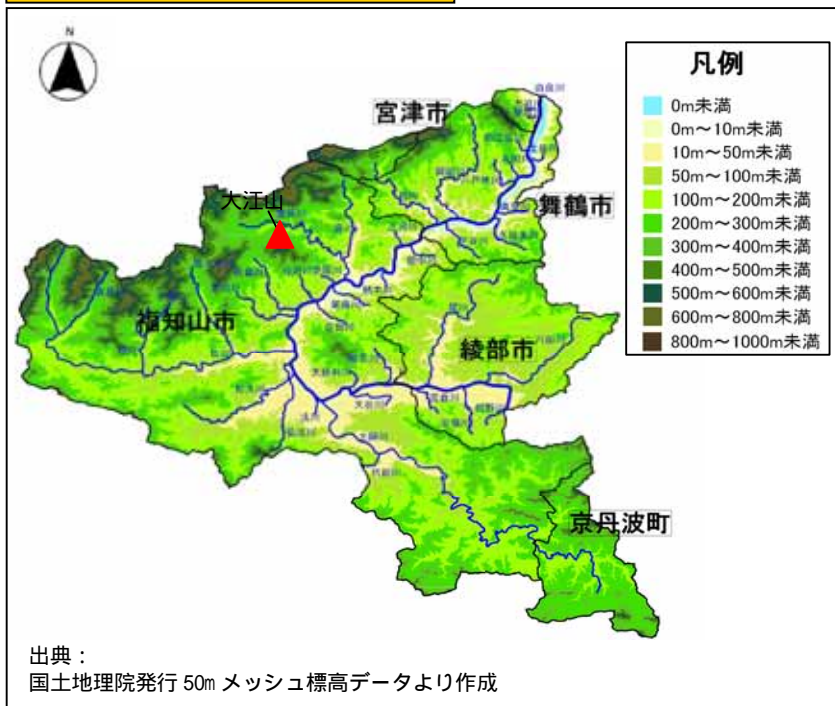
由良川下流圏域の概要（地形・地質）

由良川下流圏域の地形・地質

由良川下流圏域の地形



由良川下流圏域の標高



- ・由良川下流圏域の地形は山地が6割を占めています。
- ・福知山盆地部には、^{おさだの}長田野・^{いくたの}以久田野・^{みかただら}味方平などの洪積台地や河岸段丘、扇状地など種々の地形が発達しています。
- ・下流域では、狭隘な平地を形成しています。
- ・福知山市夜久野町と兵庫県朝来市の境界にある^{やくの}田倉山（別称・宝山）は、数十万年前に活動した京都府内唯一の火山です。
- ・裾野の夜久野ヶ原は、田倉山の噴火によって流出した溶岩流でできた玄武岩の溶岩台地です。
- ・その一角は、京都の自然200選である小倉玄武岩「やくの玄武岩公園」として整備され、地域の人々に親しまれています。
- ・同じく京都の自然200選である^{ふたせがわ}二瀬川は源を大江山の千丈ヶ嶽に発する溪流で、奇石・怪石が累々と続く清流は、素晴らしい景観を呈しています。

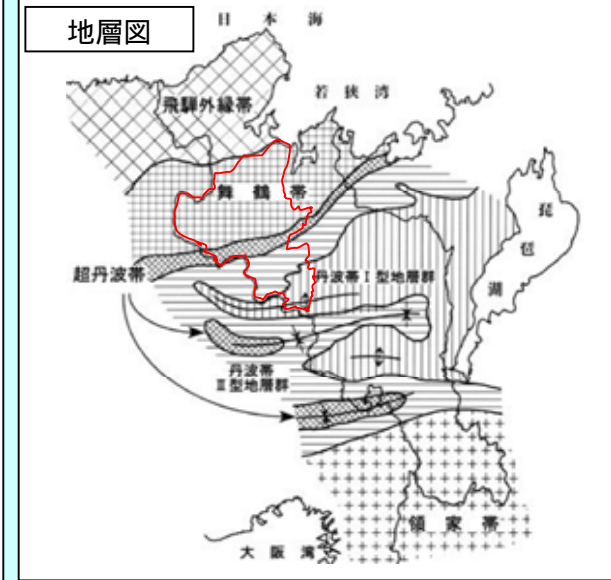
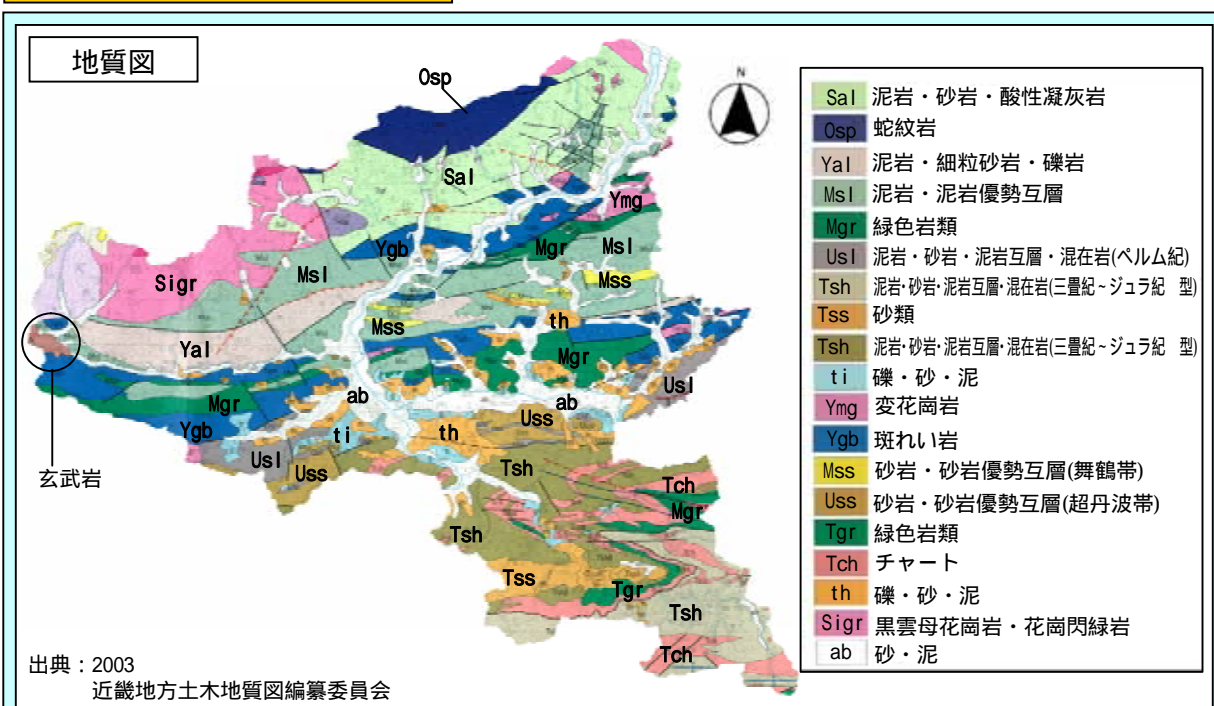
- ・由良川下流圏域の高度は山地で200～600m、河川沿いは50m未満となっています。
- ・下流域では、西岸に位置する大江山(833m)が突出しています。



やくの玄武岩公園 二瀬川溪流

- ・由良川下流圏域の地形は、山地が6割を占めており、中流の盆地部には、^{おさだの}長田野・^{いくたの}以久田野・^{みかただら}味方平などの洪積台地や河岸段丘、扇状地など種々の地形が発達しています。下流域は、狭隘な平地を形成しており、その西岸には大江山(833m)が突出しています。
- ・圏域の代表的な地質は頁岩・粘板岩・チャート・砂岩及びハンレイ岩から形成されています。
- ・圏域内の植生や地質状況は、圏域の土砂管理にとって重要な要素です。土砂管理は、河川の河床上昇や河床低下などに関連が深く、安定した河道の維持には、森林保全をはじめとする圏域一体の管理が必要です。

由良川下流圏域の地質



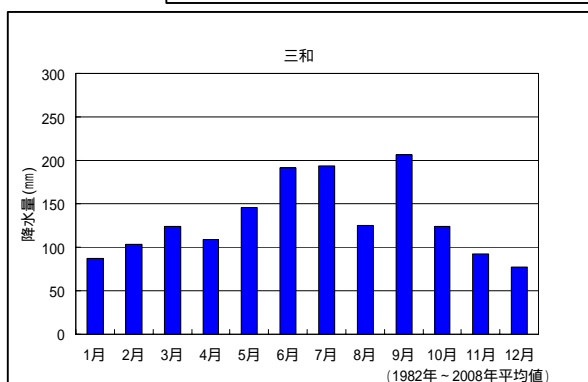
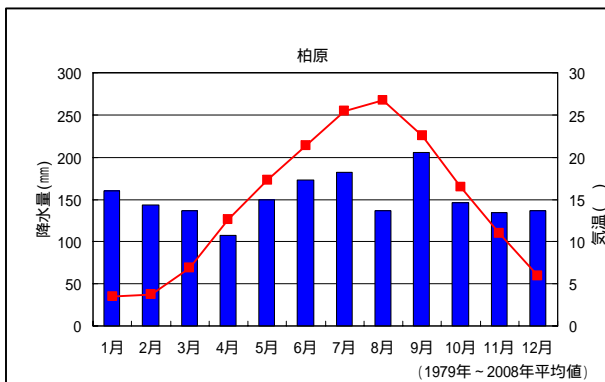
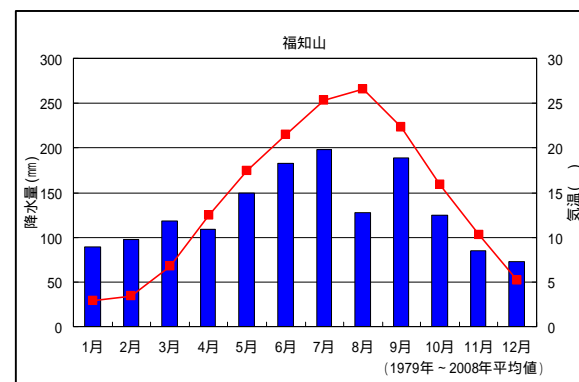
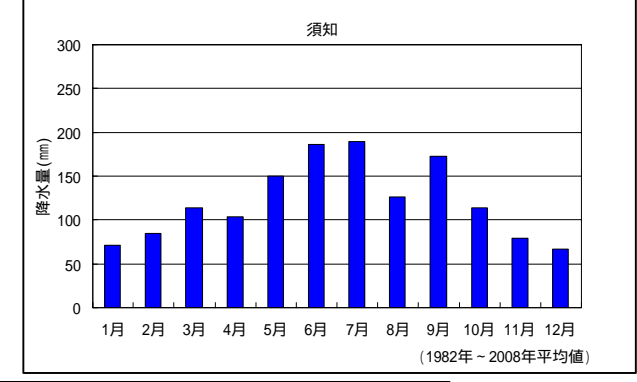
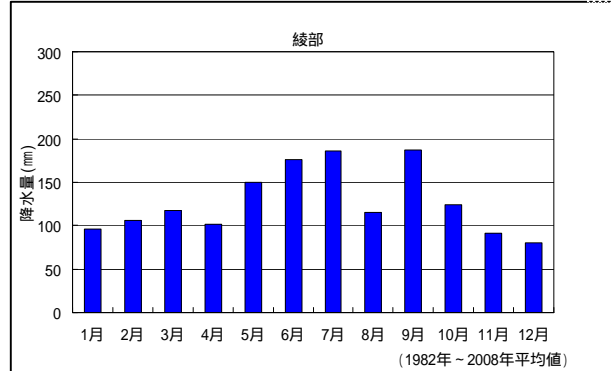
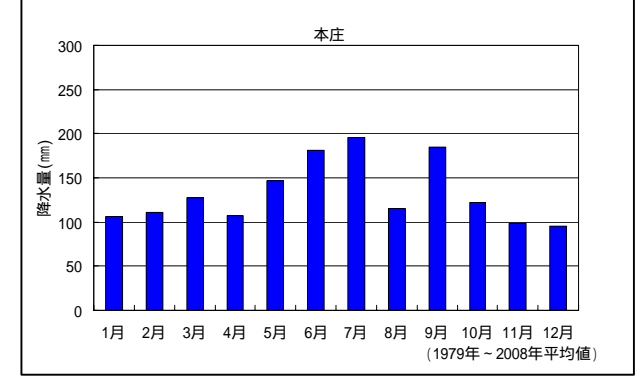
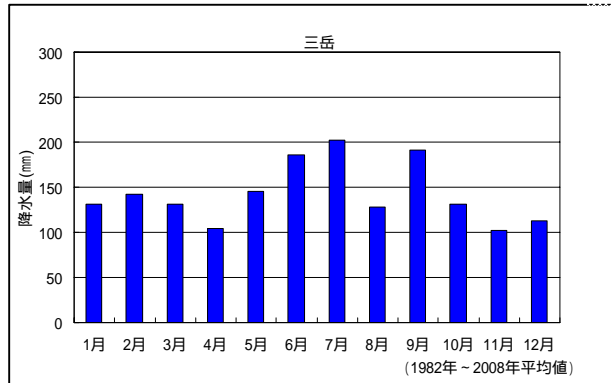
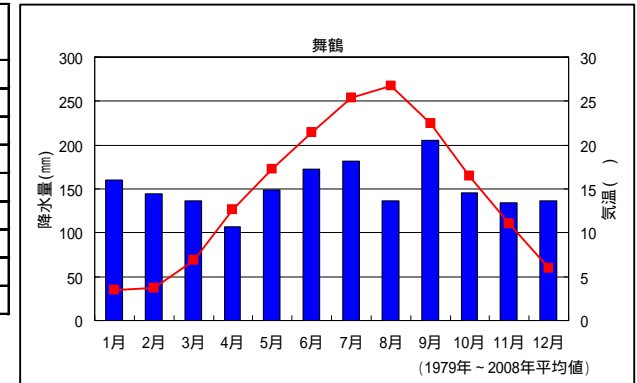
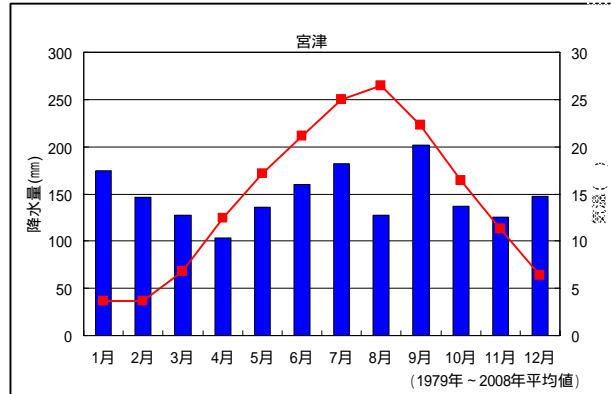
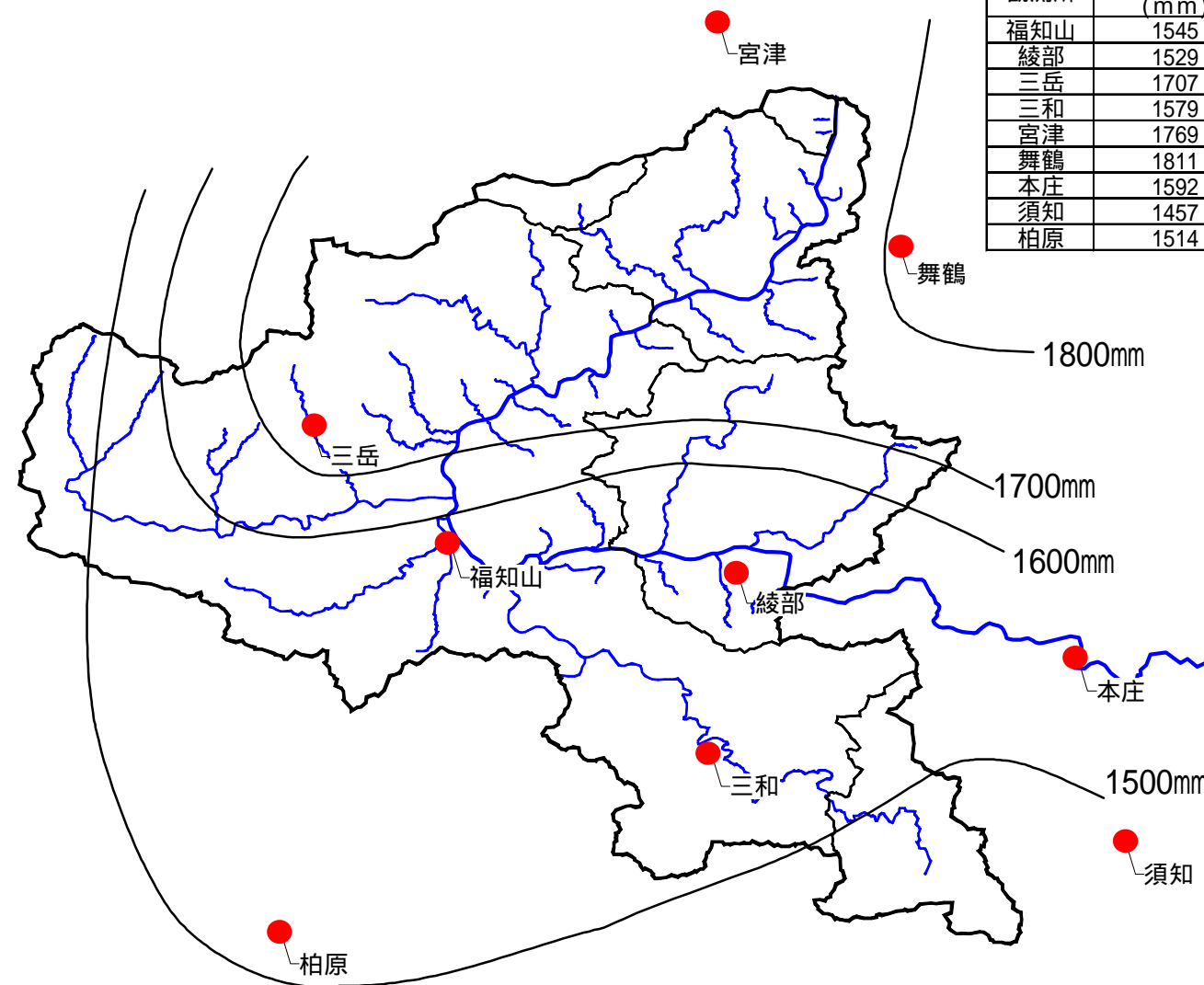
- ・由良川下流圏域の地層は舞鶴帯と丹波帯（型地層群と型地層群）から成り、中部の一部に超丹波帯を含みます。
- ・丹波帯の地質は頁岩、砂岩、チャート、石灰岩及び玄武岩から成ります。
- ・舞鶴帯の地質は泥岩、砂岩、玄武岩、チャート、礫岩及び石灰岩から成ります。

出典：京都府レッドデータブックより作成

由良川下流圏域の概要（気象）

由良川下流圏域の気象

観測所	年平均降雨量 (mm)
福知山	1545
綾部	1529
三岳	1707
三和	1579
宮津	1769
舞鶴	1811
本庄	1592
須知	1457
柏原	1514



■ : 気温
■ : 降水量

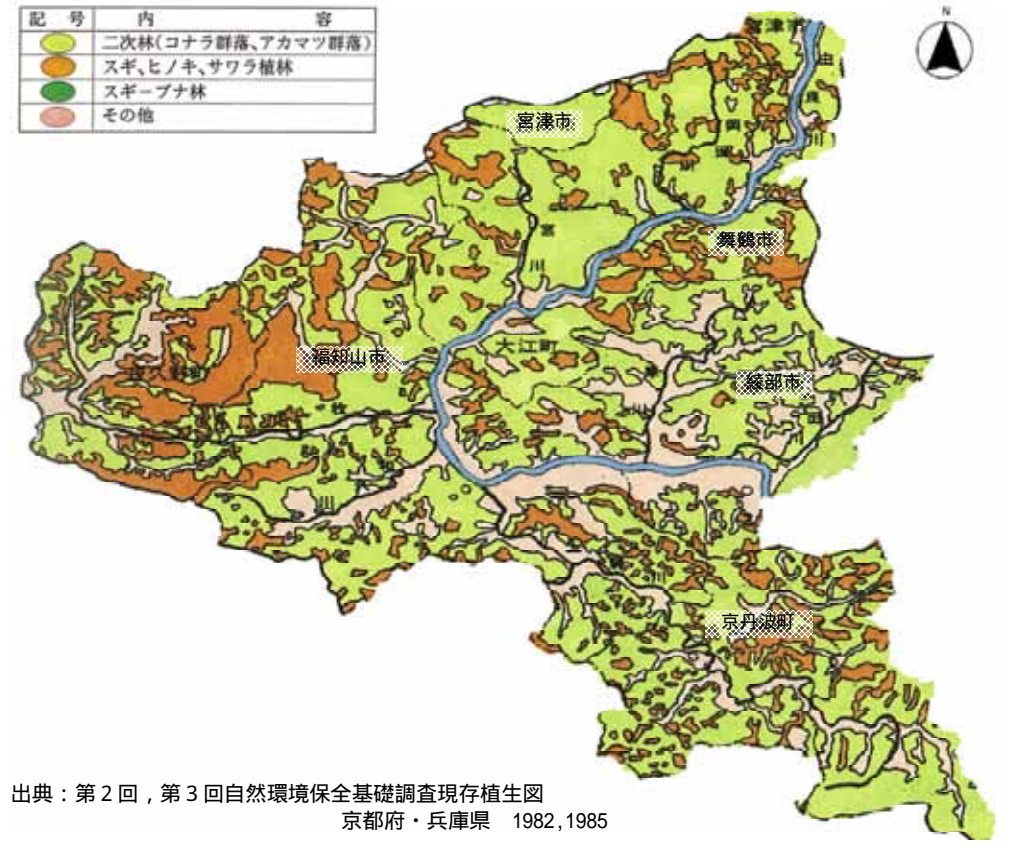
出典：気象庁アメダスデータ（気温データは観測している所のみ記載）

・気候は日本海気候区に属し、年平均気温は14～15であり、夏期平均気温は25～27、冬期平均気温は3～6で比較的寒暖の差がある気候です。
 ・年平均降雨量は1,500mm～1,800mmであり、由良川下流圏域の南東部から北西部に移るに従って冬季に降雨量が大きくなる傾向があります。

由良川下流圏域の概要（植生）

由良川下流圏域の植生

由良川下流圏域の植生



由良川下流圏域の植生は、大江山や宮川沿い等にミズナラやブナなどの原生林がありますが、その他はほとんどがスギ、ヒノキの人工林か、アカマツ、コナラを主とする二次林です。

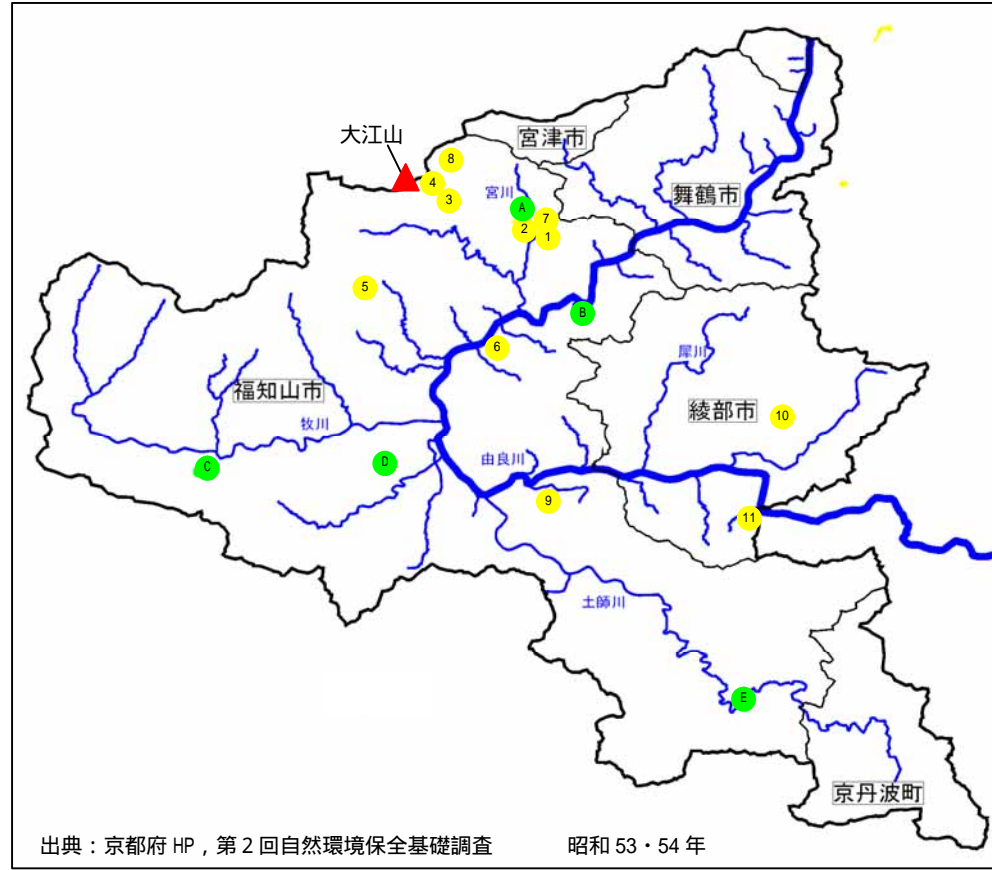


ブナ林



シイ林

由良川下流圏域の特定植物群落



番号	特定植物群落
1	大江町内宮のシイ林
2	城山の原生林
3	鬼岳のブナ林
4	大江山のミズナラ-リュウブ林
5	下野原のシデ林
6	由良川の水草群落
7	内宮のデワノツツナミソウ
8	大江山のタンゴグミ
9	石原のヌカボタデ・ヤナギヌカボ群落
10	高倉神社のシラカシ林
11	本宮山のシイ林

特定植物群落：自然環境保全基礎調査(環境省)の一環として、8項目の基準によって選定された学術上重要な群落、保護を要する群落等。

番号	京都の自然200選
A	天岩戸神社の暖温帯植物群
B	南有路のオの神のフジ
C	大蔵神社のイチヨウ
D	長安寺の薬師如来御霊木(授乳のイチヨウ)
E	轟水満宮のモミ

京都の自然200選：
 地域の象徴的存在として人々に親しまれている京都の優れた自然環境であり、植物部門50点、動物部門45点、植物群落5点、地形・地質部門46点、歴史的な自然環境部門56点の計202点が選定されています。



ヨシ・ヤナギ等の群落

岩戸山京都府歴史的な自然環境保全地域
 大江山連峰の東南に位置する岩戸山は地域の振興の山となっており、大江山の他の歴史的遺産と共に経た時の流れの中で優れた天然林を保持しており、貴重な植物が自生しています。

写真出典：「由良川」国土交通省近畿地方整備局・京都府 HP

- ・由良川下流圏域の植生は、大江山や宮川沿い等にミズナラやブナなどの原生林がありますが、その他はほとんどがスギ、ヒノキの人工林か、アカマツ、コナラを主とする二次林です。由良川本川(及び支川下流部)では、オギ・ヨシ・ツルヨシ・ヤナギ類群落が多く見られます。
- ・大江山周辺や宮川中上流には、シイやブナ等の特定植物群落に指定されているエリアや京都の自然200選に選ばれているエリアもあり、自然豊かで、貴重な植生が残されています。
- ・天岩戸神社周辺には、暖温帯性と冷温帯性の植物群が交じりあう地域であるため、豊富な植物相が見られます。

由良川下流圏域の概要（生息生物その1）

生態系の現状(魚介類等)

由良川下流圏域の魚類、昆虫、両生類・は虫類分布図



写真出典：川の生物図鑑 リバーフロント整備センター

出典：京都府動植物分布図

淡水魚類	環境省RL	京都府RDB
1 イトヨ		
2 オヤニラミ	絶滅危惧 類	絶滅危惧種
3 カマキリ	絶滅危惧 類	絶滅危惧種
4 サケ		要注目種



アカザ

両生類・爬虫類	環境省RL	京都府RDB
a オオサンショウウオ	絶滅危惧 類	絶滅危惧種
b ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧種	準絶滅危惧種
c ハコネサンショウウオ		絶滅危惧種

昆虫類	環境省RL	京都府RDB
① ギフチョウ	絶滅危惧 類	準絶滅危惧種
② オオムラサキ	準絶滅危惧種	準絶滅危惧種
③ フジミドリシジミ	準絶滅危惧種	準絶滅危惧種
④ ウスバシロチョウ		

牧川及び土師川で確認された種(エビ・カニ・貝類)

No.	種	環境省RL	京都府RDB	備考
1	サワガニ		要注目種	
2	モクズガニ		準絶滅危惧種	

- ・ 由良川はサケの遡上する南限の川と言われており、支流の牧川ではサケの採捕・採卵見学会が開かれています。
- ・ 京都府の自然 200 選では、「サケの遡上する由良川」として選ばれています。
- ・ 宮川上流及び畑川上流ではサンショウウオが生息しています。
- ・ 魚類では、絶滅寸前種であるスジシマドジョウや絶滅危惧種であるカマキリ、アカザ等が確認されています。

由良川下流圏域の魚介類調査位置図



魚類（平成 18 年度水辺の国勢調査）＜由良川＞
 魚介類（平成 18 年度水辺の国勢調査）＜牧川・土師川＞
 魚介類、昆虫類（平成 21 年度水辺の国勢調査）＜府：在田川＞

- H18年度 魚類
- 1 由良川河口
 - 2 由良川橋
 - 3 波美橋
 - 4 音無瀬橋
 - 5 以久田橋
 - 6 堀井口井堰



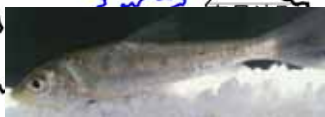
オイカワ



マハゼ



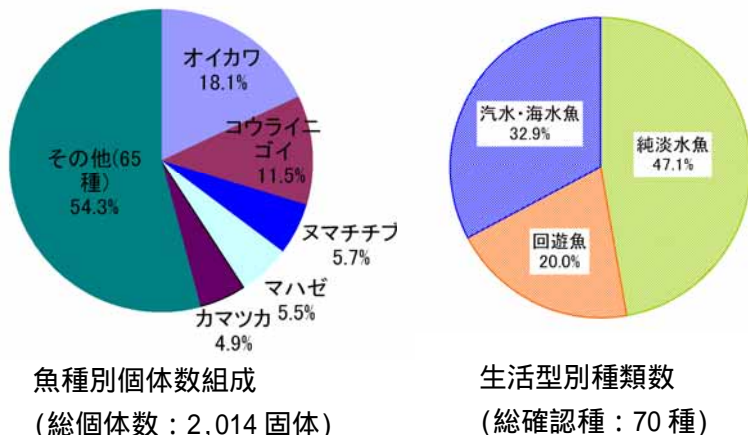
カマツカ



コウライニゴイ

京都の自然 200 選 【サケの遡上する由良川】

確認された魚類の分類



確認された種(魚類)

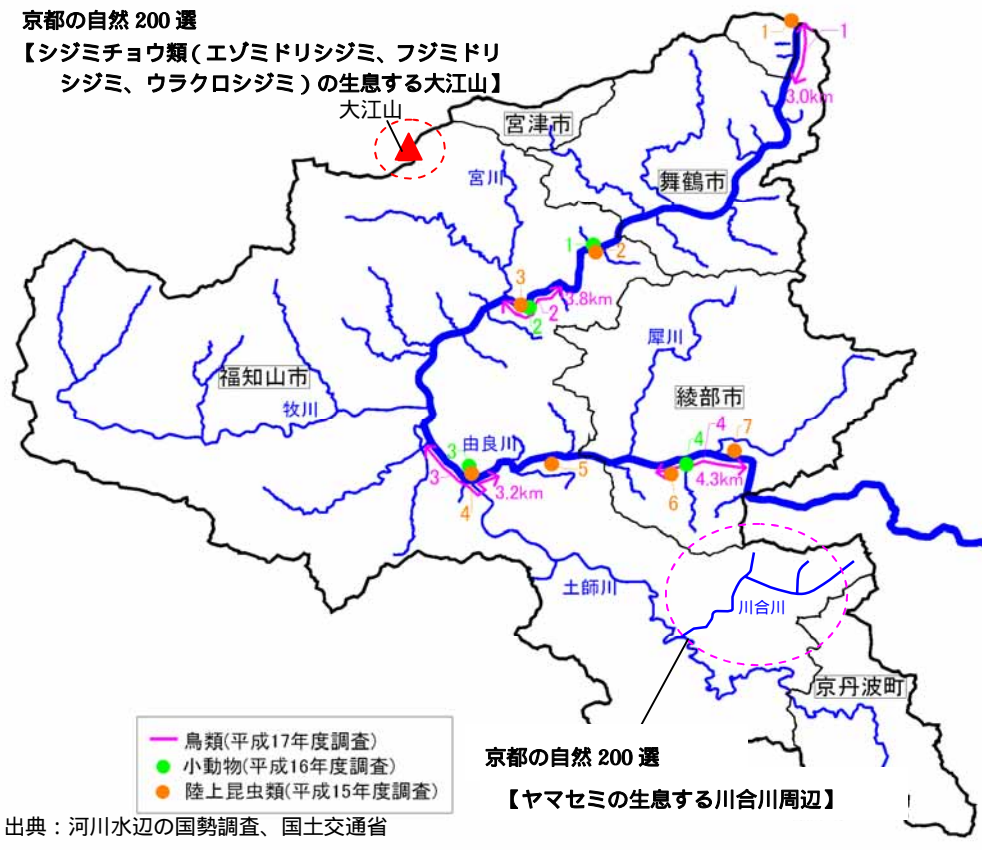
No.	種	生活型	環境省RL	京都府RDB	備考
1	ウナギ	回遊魚	情報不足		
2	サツバ	汽水・海水魚			
3	コノシロ	汽水・海水魚			
4	コイ	純淡水魚			
5	ゲンゴロウブナ	純淡水魚	絶滅危惧 B類		
6	ギンブナ	純淡水魚			
7	ヤリタナゴ	純淡水魚	準絶滅危惧種	準絶滅危惧種	
8	アブラボテ	純淡水魚	準絶滅危惧種	準絶滅危惧種	
9	カネヒラ	純淡水魚			絶滅危惧種
10	タイリクバラタナゴ	純淡水魚			
11	オイカワ	純淡水魚			
12	カワムツ	純淡水魚			
13	ヌマムツ	純淡水魚			準絶滅危惧種
14	ウグイ	純淡水魚			
15	モツゴ	純淡水魚			
16	カワヒガイ	純淡水魚	準絶滅危惧種	絶滅危惧種	
17	ムギツク	純淡水魚			
18	タモロコ	純淡水魚			
19	ゼゼラ	純淡水魚			絶滅危惧種
20	カマツカ	純淡水魚			
21	スナガニゴイ	純淡水魚			絶滅危惧種
22	コウライニゴイ	純淡水魚			
23	イトモロコ	純淡水魚			
24	コウライモロコ	純淡水魚			
25	ドジョウ	純淡水魚			
26	シマドジョウ	純淡水魚			
27	スジシマドジョウ中型種	純淡水魚	絶滅危惧 類	絶滅寸前種	
28	ギギ	純淡水魚			
29	ナマズ	純淡水魚			
30	アカザ	純淡水魚	絶滅危惧 類	絶滅危惧種	
31	アユ	回遊魚			
32	メダカ	純淡水魚	絶滅危惧 類	絶滅危惧種	
33	サヨリ	汽水・海水魚			
34	クロソイ	汽水・海水魚			
35	マゴチ	汽水・海水魚			
36	カマキリ	回遊魚	絶滅危惧 類	絶滅危惧種	
37	スズキ	汽水・海水魚			
38	シマイサキ	汽水・海水魚			
39	ブルーギル	純淡水魚			
40	ブラックバス	純淡水魚			
41	シロギス	汽水・海水魚			
42	マアジ	汽水・海水魚			
43	ヒイラギ	汽水・海水魚			
44	クロダイ	汽水・海水魚			
45	メジナ	汽水・海水魚			
46	ボラ	汽水・海水魚			
47	セスジボラ	汽水・海水魚			
48	メナダ	汽水・海水魚			
49	ネズミゴチ	汽水・海水魚			
50	ドンコ	純淡水魚			
51	カワアナゴ	回遊魚			
52	ミズハゼ	回遊魚			
53	スミウキゴリ	回遊魚			
54	ウキゴリ	回遊魚			
55	ピリンゴ	汽水・海水魚			
56	マハゼ	汽水・海水魚			
57	ヒメハゼ	汽水・海水魚			
58	ゴクラクハゼ	回遊魚			絶滅危惧種
59	シマヨシノボリ	回遊魚			
60	オオヨシノボリ	回遊魚			
61	トウヨシノボリ橙色型	回遊魚			
62	トウヨシノボリ縞鱗型	回遊魚			
63	カワヨシノボリ	純淡水魚			
64	シモフリシマハゼ	汽水・海水魚			準絶滅危惧種
65	ヌマチチブ	回遊魚			
66	チチブ	回遊魚			
67	カムルチー	純淡水魚			
68	ヒラメ	汽水・海水魚			
69	イシガレイ	汽水・海水魚			
70	クサフグ	汽水・海水魚			
71	タカハヤ	純淡水魚			
72	ナガレボトケドジョウ	純淡水魚	絶滅危惧 B類	絶滅寸前種	

環境省特定外来生物 指定種

由良川下流圏域の概要（生息生物その2）

生態系の現状(鳥類・小動物・陸上昆虫類)

由良川下流圏域の鳥類、小動物、陸上昆虫類調査位置図



ヤマセミ



シロチドリ

写真出典：川の生物図鑑 リバーフロント整備センター

確認された特定種(陸上昆虫類)

No.	種	環境省RL	京都府RDB	備考
1	ゲンバイトンボ	準絶滅危惧種	準絶滅危惧種	
2	ケラ		要注目種	
3	クルマバッタ		要注目種	
4	ルリクチブトカメムシ		要注目種	
5	コオイムシ	準絶滅危惧種	準絶滅危惧種	
6	イッシキガガンボモドキ		絶滅危惧種	
7	コガタシマトビケラ		要注目種	3
8	ヒガシヤマクダトビケラ		要注目種	
9	イノブサヤマトビケラ		要注目種	
10	ヒメセトビケラ		要注目種	
11	キアシキンシギアブ		要注目種	
12	トラフムシヒキ		準絶滅危惧種	
13	アオメアブ		要注目種	
14	クロバネツリアブ		要注目種	
15	セアカオサムシ		絶滅危惧種	
16	イグチケバカゴミムシ		絶滅危惧種	
17	マルガタゲンゴロウ	準絶滅危惧種	絶滅危惧種	
18	ヤマトモンシデムシ	準絶滅危惧種	絶滅危惧種	
19	クロキノコゴミムシダマシ		絶滅危惧種	
20	ブタクサハムシ		要注目種-外来種	
21	スナムグリヒョウタンゾウムシ		要注目種	
22	アオスジベッコウ		準絶滅危惧種	
23	ニッポンハナダカバチ	準絶滅危惧種		
24	アカオビケラトリ		準絶滅危惧種	
25	トラマルハナバチ		準絶滅危惧種	
26	クロマルハナバチ		絶滅危惧種	

確認された特定種(小動物)

No.	種	環境RDB	京都RDB	備考
1	イモリ		要注目種	
2	ニホンアカガエル		要注目種	1、2、3、4
3	トノサマガエル		要注目種	
4	ヌマガエル		要注目種	
5	ツチガエル		要注目種	
6	シュレーゲルアオガエル		要注目種	
7	クサガメ		要注目種	
8	トカゲ		要注目種	
9	シマヘビ		要注目種	
10	アオダイショウ		要注目種	
11	ヒバカリ		要注目種	
12	マムシ		要注目種	
13	カヤネズミ		準絶滅種	

H15年度 陸上昆虫類

1	由良川河口
2	三河橋上下流
3	波美橋上下流
4	音無瀬橋上流
5	戸田橋上流
6	以久田橋下流
7	白瀬橋下流

H16年度 小動物

1	三河橋上下流
2	波美橋下流
3	土師川合流点
4	以久田橋下流

H17年度 鳥類

1	河口付近
2	波美橋付近
3	土師川合流付近
4	以久田橋付近

確認された特定種(鳥類)

No.	種	環境省RL	京都府RDB	備考
1	カイツブリ		準絶滅危惧種	2、3、4
2	ミゾゴイ	絶滅危惧 B類	絶滅寸前種	
3	ササゴイ		準絶滅危惧種	
4	チュウサギ	準絶滅危惧種	準絶滅危惧種	
5	クロサギ		絶滅危惧種	1
9	オシドリ	情報不足	絶滅危惧種	
10	トモエガモ	絶滅危惧 類	準絶滅危惧種	
11	ヨシガモ			
18	カワアイサ			2、3、4
19	ミサゴ	準絶滅危惧種	絶滅危惧種	
22	オオタカ	準絶滅危惧種	絶滅危惧種	種の保存法
25	ノスリ		準絶滅危惧種	2
29	ハヤブサ	絶滅危惧 類	絶滅危惧種	種の保存法
34	オオバン		準絶滅危惧種	4
35	タマシギ		絶滅危惧種	
36	コチドリ			2
37	イカルチドリ		準絶滅危惧種	1、2、4
38	シロチドリ		絶滅危惧種	1
39	メダイチドリ			1
40	ダイゼン			1
42	トウネン		絶滅危惧種	1
45	クサシギ		準絶滅危惧種	4
46	キアシシギ		準絶滅危惧種	1、2
47	イソシギ		準絶滅危惧種	1
48	チュウシャクシギ		準絶滅危惧種	1、4
49	タシギ			1、2、3
51	ウミネコ		要注目種	3
53	カッコウ		準絶滅危惧種	4
55	ホトトギス			4
56	アオバズク		準絶滅危惧種	
57	フクロウ		準絶滅危惧種	
59	ヤマセミ		絶滅危惧種	
60	カワセミ			
61	アリスイ		準絶滅危惧種	1
62	アカゲラ		準絶滅危惧種	1
64	イワツバメ		準絶滅危惧種	3
65	サンショウクイ	絶滅危惧 類	絶滅危惧種	
67	ノゴマ			2、4
71	オオヨシキリ			1、2、3、4
72	キビタキ			2、3、4
74	コサメビタキ		絶滅危惧種	3
79	コムクドリ		絶滅危惧種	1

種の保存法：
「絶滅のおそれのある野生生物の種の保存に関する法律」(1992年6月公布)
において希少野生動物植物種に指定されている種及び亜種。

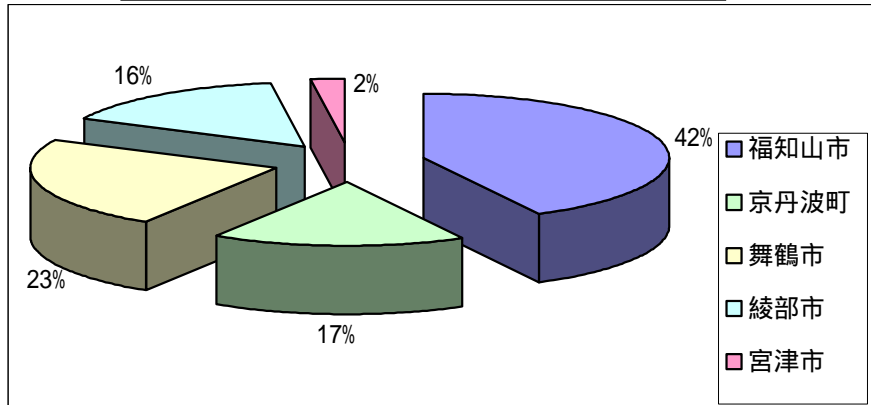
備考の数字は、確認された位置を示す。

- ・昆虫類はマルガタゲンゴロウ、ヤマトモンシデムシ等の絶滅危惧種(京都府RDB)が確認されています。
- ・鳥類は、絶滅寸前種であるミゾゴイの他、ヤマセミ、シロチドリ等の絶滅危惧種が10種類確認されています。
- ・ヤマセミは全国的に生息していますが、個体数の少ない中で、川合川周辺地域では個体数の増加が見られるなど、貴重なヤマセミの生息地となっています。

由良川下流圏域の概要（人口・土地利用・自然公園）

由良川下流圏域の社会環境

由良川下流圏域における市町別面積割合



由良川下流圏域では福知山市が全体の42%の面積占めています。

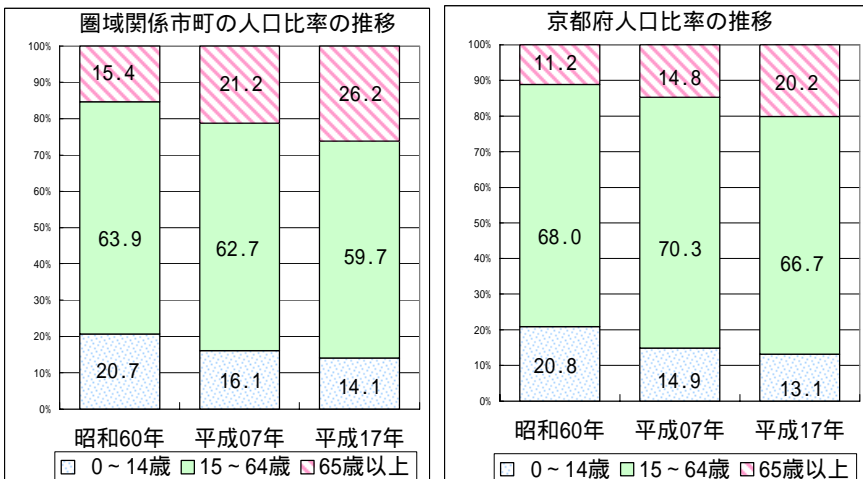
関係市町位置図



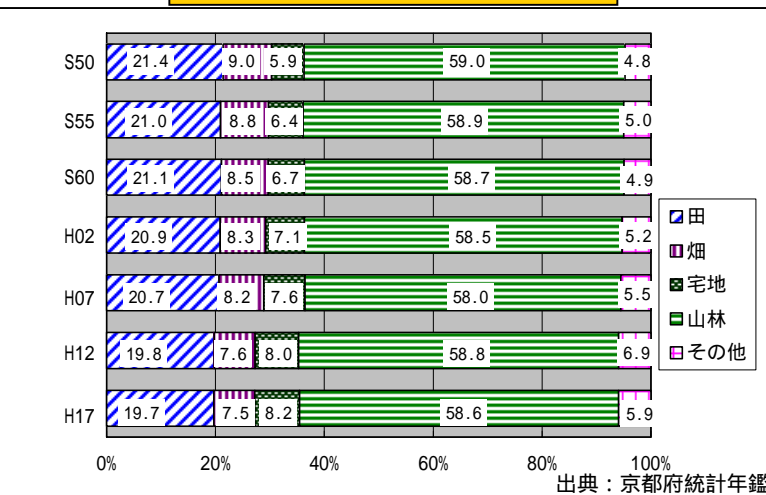
由良川下流圏域の自然公園位置図



由良川下流圏域の人口



由良川下流圏域の土地利用



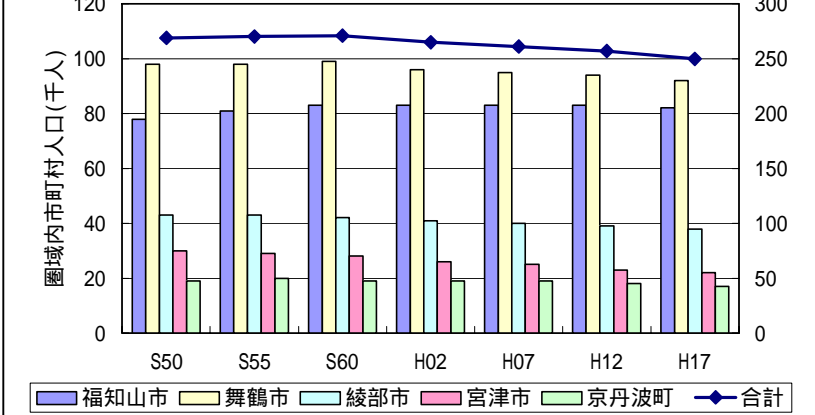
4市1町の土地利用の変遷は、山林、田、畑が若干減少し、宅地、その他（原野、雑種他など）が若干増加していますが、大きな変化はありません。

自然公園法に基づき、河口部の西側は平成19年8月に新しく「丹後天橋立大江山国立公園」と指定され、宮川、北原川、雲原川の河川区域が含まれています。特に宮川の上流域は第一種特別地域()に含まれています。また、東側は「若狭湾国立公園」としてその区域が見直されています。

国立公園第一種特別地域とは、自然公園法などで開発が規制されている地域で、最も規制が厳しい。環境庁長官が、砂防ダムの設置の公共性があると認めた場合のみ開発可能だが、実際は開発許可の権限が都道府県知事に委譲されている。河川の水位、数量の増減、木竹の伐採、工作物(住宅、道路等)の新改築等、土石の採取等の行為についても許可が必要となる。

各データ出典：京都府統計年鑑

圏域関係市町の人口の経年変化



注：上グラフの圏域関係市町とは、関係5市町全域のデータ

関係市町全体の人口は、昭和60年以降減少傾向にあります。福知山市では区画整理事業等による居住環境の改善が図られ、横ばいの状態です。年齢階層別の65歳以上の比率は平成17年で26%（京都府20.2%、全国平均17.3%）であり、高齢化の進行は著しいと言えます。

- ・由良川下流圏域は4市1町から成り、面積は福知山市が全体の42%を占めます。
- ・由良川下流圏域全体の人口は30年間で7%減少しています。
- ・福知山市の人口は、他の市町と比較して減少傾向が小さく、ほぼ横ばいの状態です。
- ・総人口に占める65歳以上の比率が高く、高齢化が著しいと言えます。
- ・土地利用は、宅地等が若干増加していますが、大きな変化はありません。
- ・宮川・北原川・雲原川の河川区域の一部は「丹後天橋立大江山国立公園」に指定されています。

由良川下流圏域の概要（歴史・文化その1）

由良川下流圏域の社会環境

由良川下流圏域の文化財と古墳・遺跡位置図



京都の自然20選(歴史的自然環境)

地域名	所在地	概要
由良の門(戸)	宮津市石浦、舞鶴市西神崎	古代の由良川河口の呼び名。現在の奈良海岸の近くであったといわれている。
大原神社	福知山市三和町大原	京都府の指定文化財。境内には京都府指定文化財の入母屋造りの本殿、拝殿、火神社、水門神社、絵馬殿などが立つ。
天寧寺	福知山市字大呂	京都府の指定文化財。京都府北部の代表的建築として京都府の文化財に指定されている。
元伊勢三社(皇大神社、豊受大神社、天岩戸神社)	福知山市大江町内宮	三重県の伊勢神宮と同じように、天照大神を祭る内宮(皇大神社)、豊受大神を祭る外宮(豊受大神社)、天岩戸神話を持つ、天岩戸神社の三社の総称。
八幡山(高津八幡宮・高津城跡)	綾部市高津	この地域に勢力を持っていた大槻氏の高津城(八幡山城)がある。また、高津八幡宮は岩清水八幡宮の別院で如意別宮といい、高津荘の総社。
丹波安国寺	綾部市安国寺	納められている文書は国の重要文化財。建造物は京都府の指定文化財。室町時代に諸国安国寺の筆頭寺とされ、足利尊氏の厚い保護を受けた禪宗寺院。

由良川下流圏域の主な文化財(建造物・史跡のみ)

文化財等	所在地	指定別	概要
島田神社	福知山市字畑中	国重要文化財	中世末期の丹波地域における神社建築の傾向を知る上で建築年代の明らかなこの本殿は、重要な遺構の一つに挙げられる。
石田神社境内社 恵比寿神社本殿	綾部市安国寺町	"	本殿の石田神社は、府の指定文化財に指定されており、この2つの神社の周辺地域は「石田神社文化財環境保全地区」に京都府より指定されている。
旧岡田家住宅(木の花庵)	綾部市本宮町	"	元は京都府船井郡瑞穂町質志にあったが、昭和47年(1972)、大本本部が譲り受けて現地に移築し、「木の花庵」と名付け、主に茶室として一般に公開している。「能勢型」の民家で、民家の建築様式の参考として非常に貴重。
私市円山古墳	綾部市私市町	国史跡	京都府内最大の円墳。近畿高速道路舞鶴線の建設で発掘され、保存のためトンネルに設計変更された。
聖塚・菖蒲塚古墳	綾部市多田町	"	聖塚は明治時代に採掘された時、仿製神獣鏡、玉、甲冑(かっちゅう)、刀剣などが出土。両方とも段築、葺石、埴輪、周濠(しゅうごう)など、古墳時代中期の大型前方後円墳と同じ築造法が見て取れる。埴輪の形式からいずれも5世紀前半のものと考えられている。
綾部大橋	綾部市並松町～味方町	国登録有形文化財	府道広野綾部線が由良川を渡る地点に昭和4年に架けられた道路橋。7月下旬には水無月まつり花火大会が開催され、多数が訪れる。
雲原砂防施設群	福知山市字雲原	国登録記念物	昭和9年の室戸台風による災害を契機に、18年もの歳月をかけて建設された砂防施設の先駆的存在。平成18年7月砂防施設として初めて国の登録記念物に登録された。
旧岡田橋	舞鶴市岡田由里	府指定文化財	由良川支流の岡田川に架けられた石造単アーチ。平成8年に歴史と水に親しむ「旧岡田橋河川水辺公園」として整備された。
天寧寺	福知山市字大呂	"	京都府北部の代表的建築として京都府の文化財に指定されている。また、境内には京都市登録天然記念物のカヤの木がある。
大原神社	福知山市三和町大原	"	境内には京都府指定文化財の入母屋造りの本殿、拝殿、火神社、水門神社、絵馬殿などが立つ。
大原の産屋	福知山市三和町大原	"	大原神社の近くにあり、その安産信仰に関連し、大正時代まで妊婦が七日七夜この産家にもって出産したとされている。
福知山城跡	福知山市字内記	市指定文化財	明智光秀が「福智山城」と改名。天守は1985年(昭和60年)に復元されたもので、福知山市郷土資料館の施設となっている。
堤防神社	福知山市字西中ノ町	指定無し	治水事業の発展と堤防の愛護と感謝の念から、全国で唯一の堤防を祭る神社として、昭和59年に御霊神社境内に建立された。



元伊勢内宮皇大神社
(福知山市)



元伊勢天岩戸神社
(福知山市)



元伊勢外宮豊受大神社
(福知山市)



雲原砂防
砂防記念碑(福知山市)



綾部大橋(綾部市)



福知山城(福知山市)



堤防神社(福知山市)



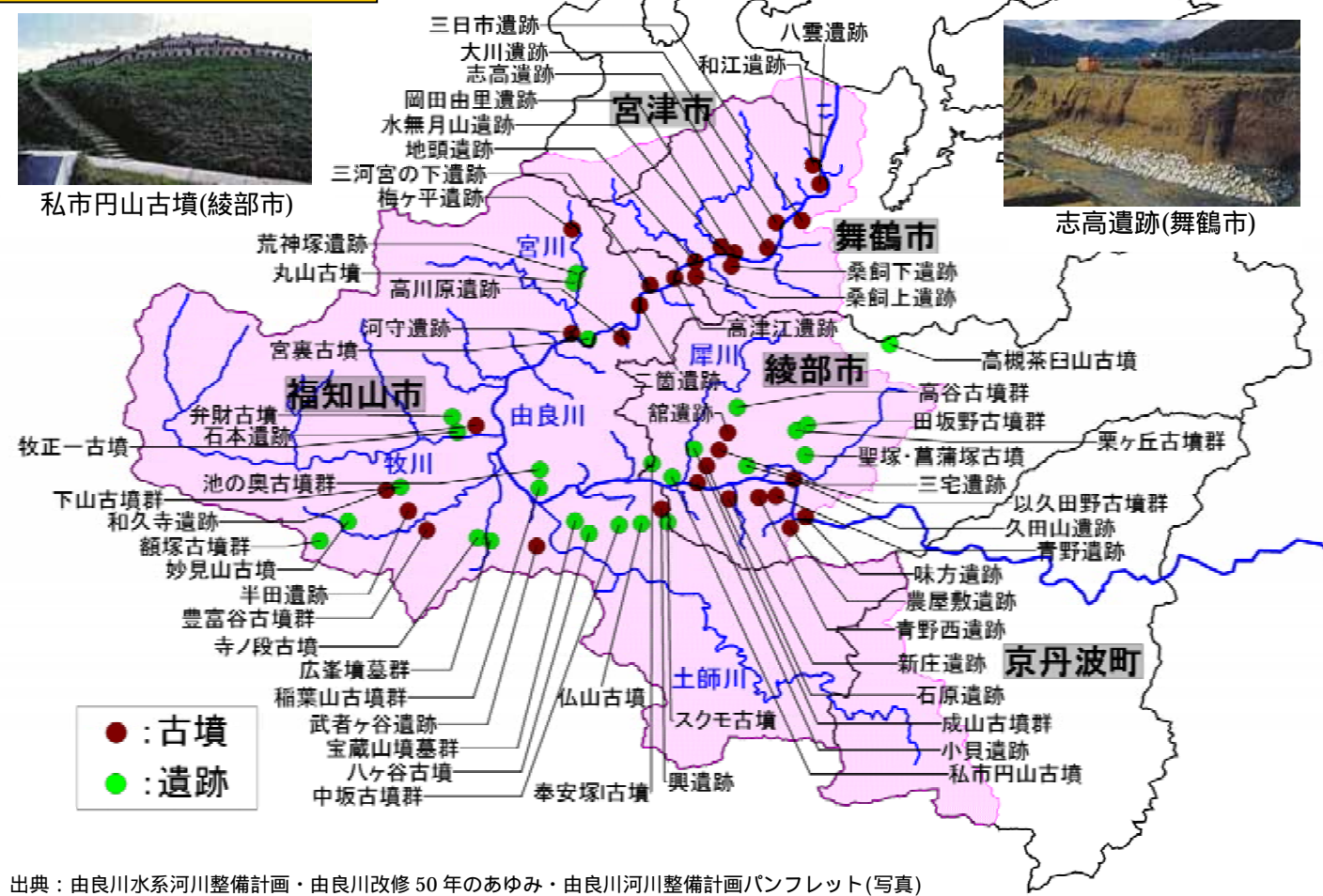
旧岡田橋(舞鶴市)

写真出典：
京都府 HP
福知山市 HP リンク先
綾部市観光協会 HP

由良川下流圏域の概要（歴史・文化その2）

由良川下流圏域の社会環境

由良川下流圏域の古墳位置図



由良川下流圏域の舟着場



かつての音名瀬橋下流の舟着場
(明治42年6月撮影)



由良川の帆かけ舟(明治～大正時代)

由良川本川では、昭和初期まで舟運による物資輸送が行われ、物資や人のみならず、文化を運ぶ動脈ともなり、幾多の文化の開化に貢献しました。
しかし、昭和初期以降は道路・鉄道交通の発達により舟運は衰退しました。

豊かな水の恵みを背景に由良川本川周辺を中心にした人々の暮らしが約10,000年もの昔に始まっていた証として多数の古代遺跡が発見されています。

- ・ 明智光秀の改築によって拡張整備された福知山城は、由良川の流れを変えて堤防を築き城下町建設が進められたもので、現在の福知山市のシンボルとなっています。また、築いた堤防の前面には明智藪と呼ばれる竹やぶがあり、堤防を保護する効果を持っています。
- ・ 皇大神社(元伊勢内宮)と豊受大神社(元伊勢外宮)は、伊勢神宮の元宮といわれ、古い歴史を有し、本殿とともに周囲の森林も永い間信仰の対象とされてきました。京都府歴史的な自然環境保全地域である天岩戸神社周辺(岩戸山)とともに元伊勢三社として豊かな天然林は現在も大切に保全されています。
- ・ 治水事業の発展と堤防の愛護と感謝の念から、昭和59年に御霊神社境内に全国で唯一の堤防神社が建立されています。
- ・ 由良川下流圏域には、豊かな水の恵みを背景に縄文・弥生遺跡や古墳が多く残されており、なかでも私市円山古墳は京都府下最大の円墳で、国の史跡に指定されるとともに、由良川中流部のランドマークとなっています。
- ・ 昭和初期までは、舟運による物資輸送が行われていましたが、昭和初期以降の道路・鉄道交通の発達により舟運は衰退しました。
- ・ 福知山市の雲原砂防は、我が国の砂防計画の先駆けであり、平成18年7月に砂防施設としては初めて国の登録記念物として登録されました。

由良川下流圏域の概要（総合計画）

由良川下流圏域の総合計画

新京都府総合計画(中丹地域)

主な事業計画

- ・高規格幹線道路等交通網の整備の促進
- ・魅力ある産業拠点の形成
- ・活力ある中心市街地の再生
- ・地域内・府県境を越えた都市部へのアクセス機能の向上
- ・潤いのある都市づくりの推進
- ・農林産物の生産振興と農林生産基盤等の整備
- ・資源と環境に配慮した水産業の振興
- ・自然環境・農山漁村資源をいかした交流の促進
- ・災害に強く環境に配慮した地域づくり

中丹地域にとって由良川の治水対策は、引き続き重要な課題であり、治水対策をはじめ、災害に強く、環境に配慮した地域づくりをめざします。

[治水対策等の推進]

河川改修事業の推進(由良川、犀川、牧川、和久川、宮川、大谷川、八田川等)

第4次綾部市総合計画(後期基本計画)

内水面漁業における水産資源の安定増殖及び「綾部市地域防災計画」などに基づいた防災対策を促進する。

- ・「綾部市中心市街地活性化基本計画」など、中心市街地の活性化
- ・由良川・上林川漁業協働組合の実施する稚魚放流事業の支援
- ・洪水ハザードマップの作成
- ・京都府が進める防災情報システム整備の推進
- ・危険箇所の把握や急傾斜地崩壊対策事業などの災害防止対策の推進
- ・由良川の堤防改修の早期完成

福知山市第4次総合計画

生態系に配慮した漁場環境の保全及び「福知山市地域防災計画」や「由良川水系河川整備計画」などに基づいた防災対策を促進する。

- ・福知山駅周辺を中心とした都市空間の形成
- ・生態系に配慮した河川整備と種苗放流の推進
- ・由良川の早期抜本的改修の推進
- ・内水対策事業の推進
- ・間伐促進や風倒木処理と治山施設の整備
- ・急傾斜地崩壊対策事業・砂防事業の早期完了
- ・一級河川・準用河川などの未改修区間の改修・整備の促進

目標とする都市構造



舞鶴市総合計画(後期基本計画)

市民と行政が協働して創りあげるまちづくり

自然環境の保全・育成及びその活用と関係機関との連携による「由良川下流部緊急水防災対策」を推進する。

- ・若狭湾国定公園の拡大による森林保全の促進
- ・洪水防止機能の維持・保全を目的とした、中山間地域における荒廃した農地の解消への支援
- ・塩水に影響されない水源の確保のための、由良川の取水施設の再整備
- ・輪中堤などによる水防災対策の促進
- ・由良川沿川の緊急避難場所の基盤整備
- ・正確な水位情報の迅速な提供のための情報伝達手段の充実



塩水の遡上を防ぐために由良川に設置した防塩幕

写真出典：舞鶴市総合計画

- ・中丹地域の総合計画では、由良川の治水対策は重要な課題であり、治水対策をはじめ、災害に強く、環境に配慮した地域づくりをめざしています。
- ・福知山市の総合計画では、「福知山市地域防災計画」や「由良川水系河川整備計画」などに基づき、生態系に配慮した河川整備や、内水対策事業等の防災対策を促進としています。
- ・現在福知山市では、区画整理事業4箇所と総合整備事業1箇所が進められていますが、その開発による流出増に対しては、下水道整備や洪水調節池により対応することとなっています。
- ・綾部市の総合計画では、「綾部市地域防災計画」などに基づき、ソフト対策や由良川の堤防改修の早期完成等の防災対策を促進しています。
- ・舞鶴市の総合計画では、関係機関との連携による「由良川下流部緊急水防災対策」を促進しています。

由良川下流圏域の概要（区画整理に関する総合計画とまとめ）

福知山市内の開発状況

福知山市土地区画整理事業

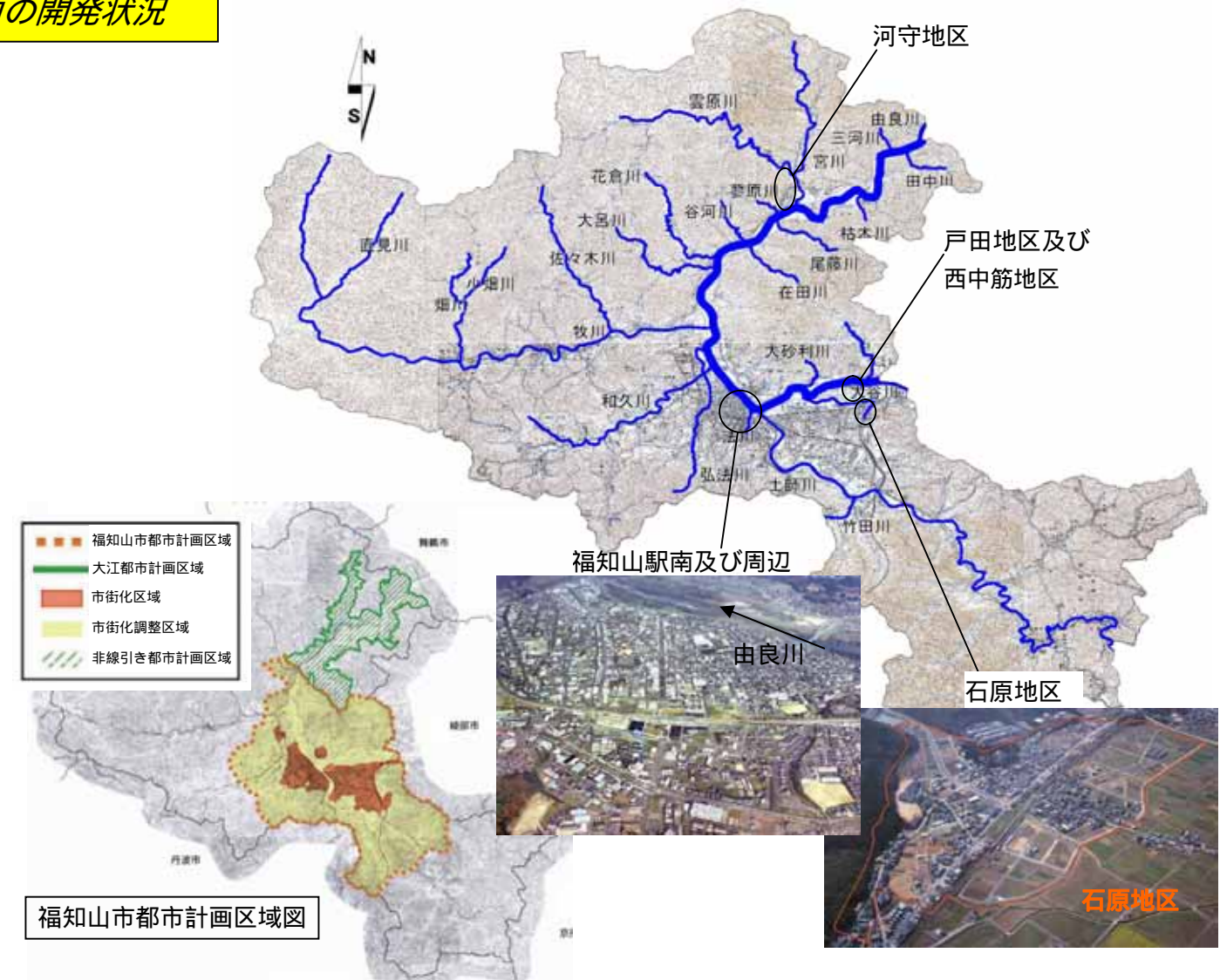
- ・福知山駅周辺地区・福知山駅南地区
駅南北地区の一体化、新たな中心市街地の形成及び丘陵地開発による良好な住宅地の形成を図ることを目的とする。
本地区の雨水及び排水は道路側溝及び水路を通じて、北西地区界沿いの準用河川西川に流下させ、また洪水対策のため大谷池を調節池として整備。
- ・石原地区
都市計画道路及び生活道路等の都市基礎の整備による、環境良好な市街地の形成が目的。
一級河川大谷川の改修計画に基づき、他事業施行により暫定改修を行い、水路は土地利用を考慮し暗渠で整備。
- ・河守地区
交通環境の改善・宮川橋の架け替え整備及び計画的な都市基盤施設の整備による「安心かつ快適に住み続けられる市街地環境づくり」を進めることを目的とする。
一級河川宮川築堤工事に併せて地区内に堤防用地を確保し、準用河川大谷川と河守井根（用水路）は、公園内を流れるように計画し親水空間の形成を図る。

西中筋西部総合整備事業

河川関連事業

- ・大谷川護岸工事
- ・由良川改修事業(国土交通省)に伴う戸田地区の移転先住宅用地造成(非農用地造成事業)
- ・移転対象外の集落環境整備(集落環境整備事業)

- ・福知山駅周辺(西川)や石原地区(大谷川)、河守地区(宮川)においては、土地区画整備事業により良好な市街地環境の形成が図られています。



流域の概要のまとめ

由良川下流部は狭長な谷底平野となっている上に、勾配が極端に緩くなることから、水害が発生しやすいという特徴があります。流域面積最大の一次支川は土師川であり、次いで牧川となっています。河川延長では土師川が40.6km、次いで牧川が29.1kmあります。年平均降雨量は1,500mm～1,800mmであり、由良川下流圏域の南東部から北西部に移るに従って冬季に降雨量が大きくなる傾向があります。天岩戸神社周辺には、暖温帯性と冷温帯性の植物群が交じりあう地域であるため、豊富な植物相が見られます。宮川上流及び畑川上流ではサンショウウオが生息しています。魚類では、絶滅寸前種であるスジシマドジョウや絶滅危惧種であるカマキリ、アカザ等が確認されています。宮川・北原川・雲原川の河川区域の一部は「丹後天橋立大江山国定公園」に指定されています。福知山市の雲原砂防は、我が国の砂防計画の先駆けであり、平成18年7月に砂防施設としては初めて国の登録記念物として登録されました。現在福知山市では、区画整理事業4箇所と総合整備事業1箇所が進められていますが、その開発による流出増に対しては、下水道整備や洪水調節池により対応することとなっています。